

Ⅲ 普及活動

1 美術館セカンドスクール事業「学校美術館」 絵画の色彩と形 名井萬龜・菅井汲展

- 会 期／平成19(2007)年11月1日(木)～11月25日(日)
会期中無休
- 会 場／三原リージョンプラザ展示ホール
(三原市円一町2-1-1)
- 主 催／三原市、三原市教育委員会、広島県立美術館
- 後 援／三原商工会議所、三原市文化協会
- 入 館 料／一 般 500円
大学生 300円
障害のある人・高校生以下 無料
- 入館者数／1,211人(うち小中高生159人)(25日間)



学校と美術館と地域の連携を深め、鑑賞教育の普及と定着をはかるため、「美術作品鑑賞教室」(p.33参照)と関連付け、平成19年度は三原市と共同して開催した。

本展では、アニミスティックともいえる独創的な画風で知られる名井萬龜(1896-1976)と鮮やかな色彩や明快な表現で欧米でも高い評価を得た菅井汲(1919-1996)の二人に焦点をあて、初期作から代表作まで31点を展示。ともに30代初めに渡仏し、絵画を学んだ点を共通項に、それぞれの特徴的な色彩や形、テーマや構図に着目させるなど、子どもたちが主体的に作品に親しめるよう配慮した。三原市では抽象絵画をまとまった形で鑑賞できる機会が少なく、本展は抽象絵画への導入という点でも貴重な機会となった。(本展担当者：石川 哲子)

関連事業

(1) 団体学習鑑賞会

- 11月9日(金) 三原市立南方小学校6年生 14名
11月15日(木) 三原市立幸崎小学校6年生 40名
11月22日(木) 三原市立八幡小学校6年生 5名
合計 59名

(2) ギャラリートーク

- 一般来館者を対象とする当館学芸員による作品解説会
11月3日(土・祝)、18日(日) 14:00～

(3) 児童・生徒作品展示

- 会場では、本展開催前に展示作品や関連作品を学校に持ち込んで実施した「美術作品鑑賞教室」(p.33参照)の際に、児童が制作した作品を展示するとともに、「ぬりえにチャレンジ」コーナーを設け、参加者の作品を展示した。



主要関連番組

三原テレビ放送（ケーブルテレビ） 「ニュースウェーブ」 11月1日

その他

- (1) 児童・生徒対象ガイドブックの作成・配布
（A 6判12ページ、1100部）

- (2) ハイビジョン番組放映（会期中常時）
「異彩の洋画家 名井萬龜」

